

●学部学生 約12,000人 ●教職員 約740人

ホームページ <http://www.hs-rm.de/de/>

交流協定締結年月日：2002年9月23日 主管学部：経済学部

### 国際交流の特色

ラインマイン大学があるヴィースバーデン市は人口30万弱で、ヘッセン州の州都です。ドイツの空の玄関フランクフルト国際空港から電車で約40分のところにあります。古来より温泉保養地として国内外に知られています。また、周辺のラインガウ地方はドイツ最大のワイン産地としても有名です。

ラインマイン大学は1971年に近隣の各種専門学校を統合して大学に昇格した比較的新しい大学で、香川大学と交流のあるヴィースバーデン・ビジネス・スクールのほかに、工学系、社会科学系等の5学部があります。ヴィースバーデン市内の本部、ビジネス・スクールのほか、郊外のリュッセルスハイム（自動車メーカー、オペルの本社がある）にもキャンパスがあります。2023年9月には、ビジネス・スクール副学部長のマリナ・グルシェヴァヤ先生が本学を公式訪問され、さらに交流を深化させているところです。

香川大学経済学部はラインマイン大学と学生の相互派遣（1～2学期間）を行い、さらに2012年度からは、講義「（特）海外研修（ドイツ）」として3月に1週間、現地で語学研修も行っています。ラインマイン大学の学生が市内観光などに同行してくれて友情を育むことができ、国際交流を実践しています。先方からは日本語履修学生、本学からは海外研修の参加学生を中心に、相互に毎年1～2名程度、長期留学生を輩出しています。

### 交流実績（令和4年度～令和6年度）

	R4	R5	R6
学生の受入	0	3	4
学生の派遣	0	0	7
研究者の受入	0	1	0
研究者の派遣	0	0	1
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0

### 学生からの声

私が一年間留学していたWiesbadenにあるRheinMain大学では、様々なルーツを持つ現地の学生や他の交換留学生達と、充実した時間を過ごすことができます。授業は英語とドイツ語のどちらかで行われます。言語の授業も充実しているので、語学力に自信がなかった私でも、様々な人々の力を借りながら乗り越えることができました。授業内では、ディスカッションや質疑応答など、主体的に参加することが求められます。初めはなかなか大変で、毎日苦しい思いをしていましたが、大学で出会った友達に助けられ、徐々に楽しめるようになりました。昼間は大学で勉強し、夜は友達とご飯を食べたり話をしたりして、充実した毎日を過ごすことができました。

学業のみならず、趣味のサッカーを通じて多くの人々と出会い、様々な経験をすることもできました。友達と週末にブンデスリーガを見に行ったり、地元のチームに所属して、日々の活動の中でドイツ語を学びながらチームメイトと仲を深めたりしました。彼らのおかげで数十倍も楽しい留学生生活を送ることができたと思います。私は人見知りで友達ができるか不安なところがありましたが、趣味を通じて人とつながる素晴らしさを感じました。

留学は辛いことばかりだとよく言われますが、得られるもの、行ってよかったと思える魅力も山ほどあります。素晴らしい人々に出会え、いろいろな国の素晴らしいところを発見できます。ぜひ皆さん自身でその感動を体験してほしいと思います。

